

議題2

えひめ認知症希望大使の委嘱について



令和6年9月3日

えひめ認知症希望大使について

認知症本人大使について

- ・ 認知症の人本人が自らの言葉で語り、認知症になっても希望を持って前を向いて暮らすことができている姿等を積極的に発信するために設置。
- ・ 現在は7名の全国版希望大使、21都府県68名の地域版希望大使が活動している

えひめ認知症希望大使について

- 名 称:えひめ認知症希望大使
- 任 期:令和4年10月1日から令和6年9月30日まで
- 人 数:2名
- 活動内容:本人の希望や体調に合わせて普及啓発活動を実施
- 活動実績:令和4年度 3件
令和5年度 16件
(上記以外にも、若年性認知症の交流会や認知症カフェ等地域での活動に参加)

氏名	年齢 (委嘱時点)	居住市町
高橋 弘子さん	78歳	四国中央市
宮脇 勝さん	59歳	松山市



えひめ認知症希望大使の設置目的等について

設置目的について

- ①地域で暮らす認知症のご本人とともに普及啓発を進め、認知症になっても希望を持って生き生きと活動している姿を発信することで認知症に対する社会の理解を深めるため。
- ②認知症の方を含めた一人一人が人格と個性を尊重しつつ支え合いながら暮らすことのできる「共生社会の実現」を推進するため。

大使の人物像や役割、要件について

大使の人物像について

認知症になっても自分らしい暮らしを続けながら、前を向いて、生き生きと活動している人



大使の役割・活動内容について



【役割】

大使の言葉や姿を通じて、自分らしく前向きに、生き生きと暮らしている実情を伝えていく。

【活動内容】

大使が希望し参加可能な、その人にあった活動を展開していく

大使の要件について

- ①県内在住
- ②認知症の診断を受けている
- ③普及啓発活動に意欲があり、県と協力・連携ができる
- ④本人の同意を得ている
- ⑤氏名・年齢等を原則公表できる

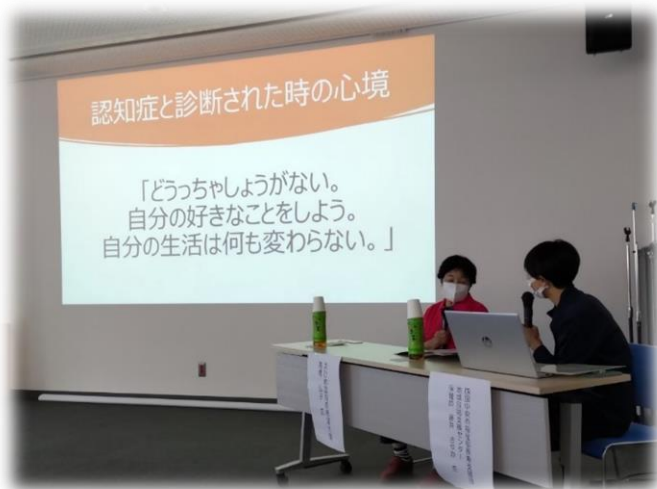


次期えひめ認知症希望大使について①

高橋 弘子 さん(再任)



- ・令和4年10月1日えひめ認知症希望大使に委嘱
- ・四国中央市が開催している本人ミーティングに毎月参加
- ・とても明るく、お話好きで聞き上手
- ・認知症と診断されても失敗することを恐れず新しいことにも積極的に挑戦している
- ・イベントで自分の思いを伝えたり、同じ立場の人の声を傾聴したりする活動をしたいと希望されている。



次期えひめ認知症希望大使について②

村上 マサ子 さん(新任、他薦)

主な経歴

専業主婦、会社員

現在の生活状況について

小規模多機能居宅介護を利用されていて、調理や生け花等をして落ち着いた暮らしをしている。

これまでの活動について

地域包括支援センターが主催の認知症カフェでは中心となって動かれており、意見もはっきりと言えている。

興味のある活動

- ・講演会や研修会の講師、パネリスト
- ・ピアサポート活動
- ・市町や関係機関からの依頼による活動

大使として伝えたいこと

- ・認知症になっても元気で活動できること
- ・105歳まで生きたいこと

推薦理由について

- ・チームオレンジの活動に参加されており、「お茶を飲みながら話す時間をもっと増やしたほうがいい、会話が一番大事だ」などと活動のアイデアを出してくれている。
- ・周囲の人に対して気配りができ、困っている人に対し声掛けができる。みんなに元気を与えられる存在である。

次期えひめ認知症希望大使について②

坪北 浩次 さん(新任、他薦)

主な経歴

会社員

現在の生活
状況について

平日は就労継続支援事業所に通っており、楽しく、責任感を持って働かれている

これまでの活
動について

- ・令和5年度愛媛県若年性認知症支援コーディネーターセミナーのシンポジストとして参加
- ・令和5年10月愛媛県認知症普及啓発フォーラムにシンポジストとして参加
- ・令和6年5月北宇和高校の認知症サポーター養成講座にシンポジストとして参加

興味のある
活動

- ・講演会や研修会の講師、パネリスト
 - ・ピアサポート活動
 - ・色々な啓発活動
- 等

大使として伝
えたいこと

認知症と診断されてもまだまだやれる。今まで以上に元気で仕事や好きなことをやり切る、その元気を伝えたい

推薦理由に
ついて

講演活動等をされており、認知症の普及啓発に貢献されているため。